

# 京大病院広報

- Kyoto University Hospital -

京都大学医学部附属病院 広報編集委員会



外来棟エントランスホール（関連記事本文2ページ）

## - 目次 -

1. 新駐車場、外来棟エントランスホール完成.....	2
2. 新任教授・診療科長挨拶	
探索医療センター探索医療臨床部教授・地域ネットワーク医療部長 横出正之.....	3
形成外科教授 鈴木茂彦.....	3
循環器内科診療科長 木村 剛.....	4
3. 本院の動き.....	5
4. 各科・部からのメッセージ.....	6
5. 読者より.....	9
6. 外来診療担当医師一覧表.....	10

ご意見、ご感想は下記までお願いいたします。

**京都大学医学部附属病院 広報編集委員会** （事務担当：総務課庶務掛）

〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町54

Eメールアドレス koho@kuhp.kyoto-u.ac.jp

ホームページ <http://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp>

Tel. 075-751-3111

Fax. 075-751-6151

## - 新駐車場、外来棟エントランスホール完成 -

昨年12月9日より新しい駐車場とエントランスホールがオープンしました。

新しい駐車場は、患者さんが安心して利用できるように、地上190台、地下180台分のスペースがあります。また、当日診察を受けた患者さんは、診療カードを料金ゲートの精算機に通すだけで出られるようになりました。

また、エントランスホールは、病院玄関として必要な各種機能を満たすとともに、病院の顔として患者さんをはじめとする利用者にとって、快適な空間となるように計画されています。



地下駐車場



新しいエントランス（中央上）と駐車場南側出口（右下）



東大路通側自動車入り口



ウッドデッキ

## - 新任教授・診療科長挨拶 -

### ご挨拶

探索医療センター探索医療臨床部教授  
地域ネットワーク医療部部长 横出正之



このたび探索医療センター探索医療臨床部教授ならびに地域ネットワーク医療部長兼任を命じられましたのでご挨拶申し上げます。

私は京大病院および兵庫県立尼崎病院で研修の後、昭和58年に医学研究科に入学し、内科学第三講座の北徹博士(現循環器内科教授)のもとで動脈硬化に関する研究を行いました。米国テキサス州立大留学中は高コレステロール血症の病態解明と分子治療の可能性を研究し、平成5年からは老年医学講座にて動脈硬化の成因究明と診療に従事致しましたが、その過程で高齢医学の幅の広さを学びました。平成13年7月からは地域ネットワーク医療部副部長を命じられましたが、医師、看護師、ソーシャルワーカーなど多くの職種が協力しつつ進めるチーム医療の重要性を痛感してきております。

探索医療センターは基礎医学研究から臨床応用まで一貫して行う Translational Reseach を目的に探索医療開発部と検証部がすでに立ち上がり、私が担当する臨床部は新規医療実施のシステム構築と遂行を責務と致します。産官学の協力連携をふまえ、研究者主導型臨床応用試験に向けて取り組んでまいります。

地域ネットワーク医療部は高度先進医療後

の患者さんの家庭・地域社会復帰を円滑にする目的で平成12年に設置され2年余りの間に着実に実績を重ねてまいりました。多職種の連携による患者さんの視線に合わせた支援を念頭に努めてまいりたいと考えております。

両部門ともチーム医療が必須になります。今後とも何とぞ皆様方のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

### 略歴

- 昭和54年3月 京都大学医学部卒業
- 昭和54年7月 京都大学医学部附属病院研修医
- 昭和55年7月 兵庫県立尼崎病院内科医員
- 昭和62年9月 米国テキサス州立大学分子遺伝学研究員
- 昭和63年3月 京都大学大学院博士課程修了 学位取得
- 平成5年1月 京都大学医学部附属病院老年科助手
- 平成5年4月 京都大学医学部老年医学講座講師
- 平成11年10月 京都大学大学院医学研究科臨床生体統御医学講座(加齢医学)講師
- 平成13年6月 同助教授
- 平成13年7月 京都大学医学部附属病院地域ネットワーク医療部副部長  
京都大学医療技術短期大学部講師併任
- 平成14年11月 探索医療センター探索医療臨床部教授  
地域ネットワーク医療部部长

### 今後の形成外科のめざす方向について

形成外科教授

鈴木茂彦



平成15年1月付けで、形成外科を担当することになりましたのでご挨拶申し上げます。

QOLを重視した医療が求められるようになって、形成外科の必要性はますます増加しています。本院形成外科では発足以来、唇裂口蓋裂、小耳症などの顔面先天異常と熱傷、

癬痕・ケロイド、母斑などの疾患が伝統的に多いですが、さらに他の疾患も含めて治療成績のレベルアップを図りたいと思います。再建外科も形成外科の1つの柱ですが、他科との共同手術をさらに押し進めて行く所存です。

最近は国立大学でも美容外科を取り扱う気運が生まれています。今後独立法人化するにあたり、本院でも、美容外科診療を検討課題にしたいと考えています。

先端治療につきましては、前任地の香川医科大学において、すでに倫理委員会の承認を得て皮膚の再生医療の臨床応用を開始してきましたが、本院においてもさらに発展した形で臨床応用を始め、高度先進医療の申請へつなげていきたいと考えています。

略歴

昭和52年3月 京都大学医学部卒業  
昭和52年4月 京都大学医学部附属病院形成外科研修医  
昭和53年4月 浜松労災病院形成外科医員  
昭和55年9月 京都大学医学部附属病院形成外科医員  
昭和62年3月 京都大学大学院医学研究科博士課程修了、医学博士取得  
昭和62年4月 京都大学医学部附属病院形成外科助手  
昭和63年6月 兵庫県立尼崎病院形成外科医長  
平成元年6月 京都大学医学部形成外科講師  
平成4年10月 同助教授昇任  
平成11年11月 香川医科大学形成外科学教授  
平成15年1月 京都大学大学院医学研究科感覚運動系外科学講座 形成外科学教授

循環器内科診療科長就任にあたり

循環器内科長 木村 剛



平成15年1月付けで、京都大学医学部附属病院循環器内科診療科長に就任いたしましたので御挨拶申し上げます。

私は昭和57年に京都大学医学部附属病院内科における1年間の研修を終え、以後20年間、小倉記念病院にて循環器疾患のカテーテル治療の開発、評価、臨床研究、ならびにその普及に携って参りました。この度、循環病態学北徹教授の御高配により循環器内科診療科長の大役を仰せつかり、身の引き締まる思いであります。大学病院の使命である教育、研究、診療の内の診療部門を任されたわけですが、自分の責務としては診療部門のみにとどまらず、教育、研究部門にも及ぶものと考えております。京都大学医学部附属病院循環器内科の臨床の方向性として以下のような3本の柱が重要となります。

- 1. 日常診療の活性化
- 2. 臨床研究のための組織作り
- 3. 新しい診断法・治療法の開発

循環器疾患の治療として最も重要な救急医療を中心にして日常診療の活性化を図ると同時に、これを大規模試験によって評価しEBMを実践する必要があります。さらに基礎研究グループとの協力で新しい診断法・治療法

を開発し、これを臨床研究によって客観的に評価した上で、診療に導入していくという大きな流れを促進させて行かなければなりません。このようにして循環器臨床の歯車が動き出せば、これは臨床面だけにとどまらず教育や基礎的研究にも好影響をもたらすことでしょう。

京都大学医学部附属病院循環器内科を魅力的な組織にし、高い志を持った若手医師に参集していただき、力をあわせて世界に向けて情報発信するために、微力ながら全力を尽くす所存でございます。今後とも皆様方のご指導・ご支援を宜しくお願い申し上げます。

略歴

昭和56年3月 京都大学医学部卒業  
昭和56年6月 京都大学内科入局  
昭和57年6月 小倉記念病院(研修)  
昭和58年6月 小倉記念病院循環器科  
平成3年4月 同科 部長  
平成14年8月 京都大学大学院医学研究科臨床器官病態学講座(循環病態学)助教授

## - 本院の動き -

京大関係病院長会議定例総会が、9月21日に東山区のウェスティン都ホテルで開催された。入退会病院や本院人事異動の紹介等の後、卒後臨床研修や現在の医療をめぐるパネルディスカッションが行われ、参加者は熱心に聞き入っていた。

10月1日よりME機器センター、分子細胞治療センター、感染制御部が、12月1日には治験管理センターが中央診療施設として設置された。ME機器センターは人工呼吸器等ME機器の集中管理を、分子細胞治療センターは分子細胞治療に要する細胞の生産等を、感染制御部は院内感染の防止を、治験管理センターは治験・臨床試験の管理を行う組織として、それぞれ活動を始めている。

(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価受審のため、8月上旬に調査票を提出し、書面審査を受けた。引き続いて10月7日～9日にかけて訪問審査を受けた。その結果、12月16日付で認定証が発行され、現在はエントランスホールに掲示している。

医療事故の防止にかかる行政の改善に資するため、総務省において「医療事故に関する行政評価・監視」を計画し、本院では10月24日と25日に、京都行政評価事務所による実地調査を受けた。全国で行った調査を総務省がまとめて、改善方法等の勧告等が行われる予定である。

厚生労働省等による社会保険医療担当者の特定共同指導が、10月23日と24日に実施された。講評を受けた指摘事項の抜本的な改善のため、院内に委員会を設け対応策を検討することになった。

探索医療センターの流動プロジェクトの一つである「グレリン創薬プロジェクト」の第一相臨床試験が、12月2日より開始された。今回は健常人を対象に行われる臨床試験で、20人程度の健常人のボランティアを募集し、グレリンを二重盲検法により投与して、その安全性について検討する試験である。今後、その結果を分析・解析した上で、第二相臨床試験を進める予定である。

第4回国立大学附属病院感染対策協議会が12月3日と4日の2日間、京都市内のルビノ京都堀川で開催された。全国国立大学病院の感染対策担当医師・看護師約150名が出席し、各大学での院内感染に対する取り組みの報告や活発な議論が行われた。また、平成15年度に本協議会の病院感染対策ガイドラインの改訂版を刊行する運びとなった。

病院等では年2回以上の消防訓練が義務付けられており、本年度第1回目の消防訓練を12月12日に南病棟7階で行った。左京消防署の協力を得て、夜間の出火を想定した避難誘導訓練や消火器操作訓練などを行った。

患者さんの安全と療養環境を守る観点などから、新しいセキュリティシステムが1月より稼働した。院内に自由に出入りできる時間帯を定め、それ以外の夜間・休日については出入り口を閉め、事前に配布したセキュリティカードを持っている者のみが建物内に入ることができるようにした。

今年で8回目を迎えた新春コンサートが、1月21日に外来棟アトリウムホールで開催された。本学学生サークルのアカペラバンドdoveによる歌、病院や老人ホームでチャリティコンサート活動をしている岡本果奈さんによるフルート演奏(ピアノ演奏:北尾雅子さん)、神戸大学病院助教授の青山伸郎氏と本学医学研究科助教授の高橋玲氏の共演による歌(テノール)とヴァイオリン演奏(ピアノ伴奏:豊永桂子さん)が披露され、入院患者さんや外来患者さんら約200名から盛んな拍手が送られた。

1月30日に、近畿厚生局及び左京保健所による医療法に基づく医療監視立入検査が行われた。基本項目の調査に加えて、今回は特に安全管理の確保状況に関する詳しい調査が行われた。

大阪地方裁判所主催の医療訴訟ガイダンスが、2月24日に本院会議室で開催された。民事訴訟手続の説明や鑑定事例の紹介等が行われ、パネルディスカッションでは活発な質疑応答が行われた。

## - 各科・部からのメッセージ -

**循環器内科**：循環器生理検査部門が平成15年2月より検査部に一元化されました。循環器内科の医師が検査部に心臓エコー検査のスーパーパイザーとして合流することにより、複数の指導医体制が実現し、若手医師や検査技師による検査の質の向上が図られることになりました。また検査の総数も増やすことが可能となり、今年からは少なくとも一部の患者さんに対しては、受診当日に心臓エコー検査および運動負荷心電図検査を施行し、診断の迅速化を図り、患者さんの利便性向上を実現します。また指導医体制の充実により、今年からは循環器生理検査を研修医や若手医師の教育プログラムに組み込むことを計画しております。研修希望の方は循環器内科木村剛（075-751-4254）まで御連絡下さい。

**循環器内科**：循環器内科ホットライン開設のお知らせ。

循環器内科では24時間体制で患者さんおよび紹介医の先生方が循環器内科の救急担当医と直接連絡が取れるシステムを構築しました。必ずしも緊急事態でなくても、何か御相談事がございましたら遠慮なく御連絡下さい。

循環器内科ホットライン  
075-751-3231  
075-751-3636  
075-751-3192

患者さん本位の診療を推進していく所存ですので、今後とも宜しくお願いします。

**消化器内科**：病棟再編成により当科は、北病棟6階、7階、8階と、3つ(!)のフロアにまたがる内科唯一の科と

なりました。主治医を初めとする職員の移動距離は長くなりますが、持ち前のフットワークを生かして頑張りたいと思います。内視鏡検査実施実績も年々増加し、昨年度は、約6000件の検査を行って参りました。これからも良い医療を目指して、職員一丸となって進みたいと思います。

**免疫・膠原病内科**：多くの患者さんや医療機関に当診療科を知っていただくようになり、関西圏におけるリウマチ・膠原病診療の中心になって参りました。ご期待に添うよう、スタッフ一丸となり努力を続けていきます。リウマチ疾患・膠原病でお困りの方は、是非ご相談ください。075-751-4380（秘書室へ）。ホームページ <http://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp/~mimorit/top.htm>

**神経内科**：パーキンソン病の治療では、的確な鑑別診断、適切な抗パーキンソン病薬の選択、使用量の調整が欠かせません。京都大学病院神経内科では、核医学教室や高次脳機能総合研究センターとの協力により、パーキンソン病類似の疾患の鑑別を、脳MRI、脳血流シンチグラム、あるいは、ドーパミン受容体の画像解析などを駆使して進め、正確な鑑別診断につとめています。また、発症年齢、罹病期間その他によって、最適な抗パーキンソン病薬の種類や量が異なりますが、これについても一例一例きめ細かく対応しています。レビー小体病とよばれる認知機能障害や精神病状が合併しやすい病態にも種々の治療を試みています。

**外科(第一外科)**：胃・食道、膵・胆道、大腸の外科的疾患の臨床的、基礎的研究の基づく治療法の選択と手術法の改良により、難治癌、難治疾患の治療成績を向上させています。膵・食道疾患治療の本邦での指導的施設の一つであり、膵内分泌腫瘍と関連疾患の独創的診断法による治療成績は国際的に高い評価を受けています。直腸再発癌の手術では本邦有数の成績を上げております。膵癌治療のためのミニ骨髄移植を、血液・腫瘍内科と共同で実施する準備を完了しました。

**皮膚科**：当科では、一般外来診療の他に16の専門外来（アトピー性皮膚炎、接触皮膚炎、光線過敏症、蕁麻疹、白癬、脱毛症、乾癬、角化症、母斑症、水疱症、膠原病、皮膚神経、皮膚外科、静脈瘤、皮膚潰瘍、褥瘡）を設けると共に、白斑に対し吸引水疱植皮を試みるなど、個々症例に対し適切かつ最良の治療を選択するよう心掛けています。また、他科とも密接な連携をとっていますので、皮膚に異常あるいは‘できもの’が生じたときはお気軽に御相談ください。

**泌尿器科**：当科では小さな傷、軽い痛み、早い回復、しかも従来の手術以上の成績をあげられるよう積極的に体腔鏡手術（腹腔鏡手術）に取り組んでいます。副腎腫瘍ではほぼ全例で、腎の腫瘍（腎盂尿管癌を含む）も9割以上の方で体腔鏡手術を採用しています。これらの患者さんは手術の翌日には食事や歩行も可能となります。腎移植ドナー

の腎摘出も体腔鏡を用いており、早期退院が可能です。また前立腺癌に対する腹腔鏡下前立腺全摘除術も日本でいち早く取り入れ、高度先進医療として行っております。その他の疾患に対しても幅広く体腔鏡手術を取り入れています。術式選択には患者さんの希望も十分採り入れますので、担当医に遠慮なくご相談ください。

**整形外科**：股関節、膝関節共に骨に早くなじみ、良く曲がる関節をと造られた京大のオリジナル人工関節を用いており、合わせて年間約150関節の手術を行い良好な成績を出しています。脊椎、手の外科、スポーツ整形、腫瘍、関節リウマチ、骨粗鬆症と守備範囲は非常に広いのですが、工夫をこらし患者さんにやさしい治療を目指しています。それぞれの各専門医が毎週外来に出ておりますので、お気軽に御相談下さい。

**形成外科**：新教授が着任したのを機会に、4月から診療体制を一新します。再生医療(培養皮膚など)、マイクロサージャリーなど新しい技術を用いた再建手術を進めていく他、本来の京大形成外科の伝統でもある口唇口蓋裂、小耳症などの顔面先天異常、熱傷、瘢痕・ケロイドなど皮膚形成外科にも力を入れ、フォローアップ、患者さんとのふれあいを大切にしたいと考えています。どんな些細な悩みでも気軽に相談できる形成外科を目指します。075-751-3318(形成外科病棟)

**心臓血管外科**：弁膜症に対する弁形成手術にも取り組んでいます(米田着任以来100例

近くなります)。例えば僧帽弁では弁葉自体に柔軟性があればほぼ全例形成に成功しています。人工弁の長期成績も向上しましたが、弁形成は健康者の生活に戻れるのが魅力です。若い女性では妊娠出産が、男性では激しいスポーツも可能になります。遠方から来院される方も増えました。心雑音やエコー上逆流を持つ患者さんがおられればご相談下さい。詳しくはホームページをご覧ください。【心臓血管外科ホットラインは075-751-3788か3789】

**心臓血管外科**：虚血性心疾患に対するACバイパスとくに体外循環を使わないオフポンプバイパスが更に進展を見せています。高齢者、慢性腎不全や重症糖尿病・頸動脈狭窄や脳梗塞既往などはもとより低左心機能や緊急例でも積極的に行っています。現在まで不可能とされている心筋内LADにも安全にバイパスする方法を開発し9例すべてに成功しています。より強力な再生医学併用バイパスを年内に準備中です。PTCAでどうしても治らないケースも含めてご相談下さい。

**呼吸器外科**：国内4カ所の肺移植実施施設の一つとして、2002年に初めて生体肺移植、脳死肺移植それぞれ1例を成功裏に実施しました。肺癌治療では必要な症例には気道や血管の再建を含む積極的な手術を行う一方、胸腔鏡下肺切除など低侵襲な治療も取り入れています。術後補助化学療法には癌との共生(Tumor Dormancy)の概念を取り入れるとともに、腫瘍の分子生物学的特性や患者さんの肉体的・社会的背景を考慮したオーダーメイド治療の実施を目指

します。呼吸生理学や再生医学の進歩を臨床に取り入れることも現在の目標です。

**薬剤部**：無菌的に高カロリー輸液(TPN)を調製することは、カテーテル関連感染症の防止のためにも重要とされています。薬剤部では昨年4月からTPN無菌調製の対象診療科拡大に努めており、業務の効率化、環境の整備、スタッフの努力によって9月時点ですべての病棟にこのサービスの実施するに至りました。今後更に、TPN患者への薬剤管理指導業務(服薬指導)の実施を考えておりますので、TPN適応と輸液ルート管理の適正化、また注射オーダーの適正化を切にお願い致します。

**手術部**：外科系の中央手術部として、癌手術、心血管、神経手術、再建、移植手術などを年間5000件以上施行しています。手術数は全国国立大学手術部ベスト3を常に占めております。難手術を扱い、易しい手術を扱うデイサージャリー診療部と連携して機能しているのが特色である。トップクラスの難手術を支えるため、医師、看護師、技官等のスタッフが一丸となって、安全かつ効率の良い手術部運営に努めています。

**救急部**：救急は医療の原点であるとの認識のもと、本院でも救急診療体制の整備が行われてきました。その結果1年間に、受診総数6571名、救急搬入1359台に達し漸増傾向を示しています。同時に、さまざまな問題点も浮かび上がってきました。これらの問題点を改善して、質の高い救急医療を提供していくためには、

各診療科を始め病院全体の協力体制が必要です。今後とも協力助言をお願いいたします。院内PHS：2999、24時間対応です。

**輸血・細胞治療部**：廃棄血の大幅な減少により、血液の総使用量が3割近く減少いたしました。貴重な医療資源である血液を大切に使用していただくため、輸血部は今後も引き続き院内におけるインテリジェントな輸血管理システムの構築を目指し努力してゆく所存です。

**病理部**：適切な医療は正しい診断から。日常診療も臨床研究も正しい診断無くして成り立ちません。病理部は診断病理を専門とする臨床科です。新鮮材料の肉眼診断に始まり、適切な固定・切り出し・標本作製、そして正しい組織診断を通して、病院病理部は京大病院の質の高い医療に貢献します。診断病理専門医の育成はもちろん、その指導医を輩出し、日本の診断病理の質を高め、医療全般の向上に寄与できることを目指します。

**光学医療診療部**：呼吸器疾患、上部・下部消化管、及び胆膵疾患の検査は勿論、外科的手術以外の内視鏡的治療は全て診療しています。特に吐下血に際しての緊急内視鏡と内視鏡的止血術は24時間いつでも対応しています。内視鏡診療については御遠慮なく御相談下さい。075-751-4596か4319（消化器内科医局）夜間・時間外は消化器内科当直医（PHS：2-2923）

**探索医療センター**：「探索医療センター」は、我が国における先端的医療開発拠点の場として、新たな医療開発及び臨床試験等に関する研究・開発を行うことを目的として平成13年度に設置されました。本センターは新しい医療技術の臨床開発を進める「探索医療開発部」、プロトコル・調査表作成及び安全性の検討などを行う「探索医療検証部」、臨床応用実施のための「探索医療臨床部」の3部で構成され、安全・倫理面については京都大学医の倫理委員会、また、生物統計面については京都大学社会健康医学系専攻の専門家のバックアップを受け、産官学が協力・連携のもと先端医療の開発を目指しています。

**デイ・サージャリー診療部**：手術室6室と回復室18床をもつ本邦最大級の日帰り手術専門施設です。全身麻酔下手術など従来は長期入院で行われていた手術を短期滞在手術（手術当日来院、手術当日または1泊後に帰宅、問題ある場合は術後数日入院）として行っています。患者さんの日常生活ペースを乱すことなく手術ができます。他院で長期療養中の患者さんの手術も行っています。個々の手術適応につきましては各診療科外来におたずねください。

**地域ネットワーク医療部**：2000年10月以来、1000件を越える患者支援を行ってきました。MSWの関わる療養上の問題援助では、DV・小児虐待・オーバーステイ等多岐にわたっております。昨年より、PSW・退院調整Nsを配置し、精神科疾患への対応、退院計画への関わりで、専門性を発揮しております。

15年度より、予算措置され正式に活動することとなりました。院内・外から病診連携の役割も期待されており、今後、医療情報部との連携でシステム化を行い、受診率の増加にも寄与していくこととします。

**医療安全管理室**：昨年、医療法の施行規則の改正により医療の安全管理を確保するための体制が義務付けられました。本院はすでに医療安全管理室を中心にこの体制を整備し、しかも(財)日本医療機能評価機構の新体系により“認定第JC2号”として認定されています。この体系の第2領域は、患者の権利と安全の確保であり、患者さんには今まで以上に安心かつ信頼して本院を受診していただけるものと確信しています。

**分子細胞治療センター**：細胞治療、再生治療、移植治療など先端医療開発に必要な品質の保証された治療用細胞のプロセッシングを行うため、昨年10月に開設されました。

**治験管理センター**：治験管理センターでは製薬企業がスポンサーとなる治験・市販後調査を対象に、薬剤師、看護師、臨床検査技師、事務職員が連携を取りながら、治験受入前の予備審査から受入後の実施支援に至る幅広い業務を行っています。また、質の高い治験の適切かつ安全な実施を目指して「治験コーディネーター」業務も推進しており、より良い医薬品の開発のために貢献していきたいと考えています。

**看護部（地域ネットワーク医療部）**：地域ネットワーク医療部での相談援助の75%は退院支援であり、依頼までの平均日数は145日となっています。2002年7月より、在宅医療での経験豊かな看護師が加

わり、専門看護師として退院調整を行い、患者さんが適切なケアを継続して受けられるよう、総合的にアセスメントし、院内・外の多部門と連携し、在宅医療調整を行っております。

1月より、「入院時スクリーニングシート」の活用を開始し、退院困難が予想されるケースを早期に特定し、病棟Nsと共に作る退院計画を目指すこととしております。

## - 読者より -

今回は手始めとして芝蘭会の方々にご執筆いただきました。

### 京大医学部芝蘭会と私

芝蘭会副会長 中野 進（昭和22年卒）

（社）京大芝蘭会の副会長を致しております。私を含め、会員の皆さん方も芝蘭会の事を詳しくはご存じないと思います。正確に言えば、その定款第1章より第8章（第53章まで）に詳しく定められております。でも、皆さん方は同窓会的な雰囲気をもつ組織を想像されていると思っております。

たしか昭和30年だったと記憶しています。先輩たちが苦心し金を出し合って、岡崎疎水端に和風のお屋敷を購入、芝蘭会の事務所代わりに使用していました。古い先生方のご存じと思いますが、会議や宿泊、食事もして頂きました（岡田というおばさんに色々お世話になりました）。本来の事務所と離れていることもあり、理事の先生方の一大決心により、多くの会員に呼びかけ募金を行い、それを中心に、本願寺さんより現在の土地をお譲り頂

き、そこへ会館を創りあげました（平成元年1月15日）。当時、この種の「社団法人」であったのは全国を見て京大だけであり、ごく近年に東大、阪大も同じ形になられたと聞いております。

現在（平成13年の芝蘭会名簿）会員9000名余、京都はもちろん、全国で芝蘭会支部の無いのは、青森・宮城・栃木・山梨県のみであります。もっとも、京都・滋賀・大阪・兵庫は母校に近いから当然ですが、他に東京圏（東京・神奈川・埼玉・千葉）、その他の関連（拠点）病院がある静岡・岡山・福岡県等に会員が集中しています。

肝心の京都のことを書くスペースが無くなりました。またの機会があれば、「芝蘭会のあり方」等を書かせて頂ければと願っています。

### 医療改革雑感

芝蘭会京都支部副支部長

西 祥太郎（昭和31年卒）

2月28日の商業紙は一斉に「株式会社の医療参入」と報じました。Non Profitとしての医療に株式会社が参入することが何故経済社会の構造改革の最重要課題になるのか理解に苦しむところです。

ともあれ現在の医療批判の洪水の源にあるものは、生命倫理の問題と、医療経済の問題の二つに集約されると思います。

日経新聞での「医療再生」欄で提言された「改革への処方箋」15項目の中の5項目

をあげておきます。

- 『IT使い医療の成績を評価せよ』
- 『医師教育に対する評価を高めよ』
- 『幅広い臨床能力持つ医師養成を』
- 『社会保障制度全体で将来図掛け』
- 『医師は患者の視線で対話重ねよ』

今、医師に求められているものは医療現場で患者との間に新たな医療倫理を築き上げていくことだと思います。



外来診療担当医表 2階 内科系 (2003年 2月)

京都大学医学部附属病院

2-A受付 消化器科(C)						内線 FAX	4425 4438
診察室	曜日	月	火	水	木	金	
201 TEL(4444)	肝臓 舘島 紀滋 (消内)	消化器 青野 充 (消内)	肝臓・消化器 千葉 勉 (消内)	消化器・舘臓・肝臓 岡崎 和一 (消内)	消化器・舘臓・肝臓 八隅 秀二郎 (消内)	消化器・舘臓・肝臓 舘臓・肝臓 (消内)	
202 TEL(3684)	消化器 大花 正也 (消内)	消化器・肝臓 替田 芳孝 (消内)	消化器・舘臓・肝臓 澤田 光孝 (消内)	消化器・舘臓・肝臓 妹尾 浩 (消内)	舘臓 河南 智晴 (消内)	舘臓 (消内)	
203 TEL(4368)			肝臓 福田 善弘 (内分泌)			福田 善弘 (内分泌)	
204 TEL(4369)	肝臓 西田 直生志 (内分泌)	消化器 若月 芳雄 (老年)	消化器 西田 直生志 (内分泌)	肝臓 米田 俊興 (内分泌)			
205 TEL(4298)			舘臓科が使用 舘島 紀滋 (第1週休診)	舘臓科が使用			
206 TEL(4568)			消化器 青野 充 (1,3,5週) (血液)				

2-A受付 舘臓科(D)						内線 FAX	4425 4435
診察室	曜日	月	火	水	木	金	
206A TEL(4424)	舘臓・高血圧 家原典之(午前) (舘臓)						
206 TEL(4424)	舘臓・高血圧 猪原 登志子 (午後) (循環器)	舘臓・高血圧 小野 孝彦 (循環器)	舘臓・高血圧 野村 啓子 (循環器)	舘臓・高血圧 小野 孝彦 (循環器)	舘臓 田中 芳徳 (舘臓)		
207 TEL(4426)	高血圧 中尾一和(2,4週) 小川佳宏(1,3,5週) (内分泌)	高血圧・舘臓 永江 徹也 (内分泌)	高血圧・舘臓 澤田 直樹 (内分泌)	舘臓・高血圧 伊藤 裕 荒井 宏司 (内分泌)	舘臓・高血圧 伊藤 裕 荒井 宏司 (内分泌)		
208 TEL(4239)	舘臓・高血圧 向山 政志 (内分泌)	舘臓・高血圧 長井 幸二郎 (老年)	舘臓・高血圧 菅原 照 (内分泌)	舘臓・高血圧 向山 政志 (内分泌)	舘臓・高血圧 菅波 孝祥 (内分泌)		
205A TEL(4298)		舘不全・透析 深津敦司(午前) (舘臓)					
205 TEL(4298)					舘臓・高血圧 武田敏也(午前) (循環器)		

2-C受付 呼吸器科(G)						内線 FAX	4445 4450
診察室	曜日	月	火	水	木	金	
217 TEL(4931)	初診・一般 担当医 (呼内)	初診・一般 担当医 (呼内)	初診・一般 担当医 (呼内)	初診・一般 担当医 (呼内)	初診・一般 担当医 (呼内)		
218 TEL(4923)	慢性気管支炎 長井 苑子 (呼内)	慢性気管支炎 三嶋 理晃 (呼内)	慢性気管支炎 三尾 直士 (呼内)	慢性気管支炎 伊藤 穰 (呼内)	慢性気管支炎 長井 苑子 (呼内)		
219 TEL(4575)	一般/感染症 平井 豊博 (呼内)	慢性気管支炎 中村 敬哉 (呼内)	慢性気管支炎 陳 和夫 (呼内)	慢性気管支炎 中村 敬哉 (呼内)	慢性気管支炎 平井 豊博 (呼内)		
220 TEL(4925)	慢性気管支炎 三尾 直士 (呼内)	慢性気管支炎 松本 久子 竹村 昌也 (呼内)	慢性気管支炎 室 繁郎 (呼内)	慢性気管支炎 担当医 (呼内)	慢性気管支炎 室 繁郎 (呼内)		
221 TEL(4926)	慢性気管支炎 松本 久子 (呼内)	慢性気管支炎 松本 久子 竹村 昌也 (呼内)	慢性気管支炎 月野 光博 (呼内)	慢性気管支炎 担当医 (呼内)	慢性気管支炎 月野 光博 (呼内)		

2-B受付 内分泌・代謝科(E)						内線 FAX	4425 4438
診察室	曜日	月	火	水	木	金	
209 TEL(4440)	内分泌・代謝 小松 弥郷 (内分泌)	内分泌・代謝 島津 章 (内分泌)	内分泌・代謝 小松 弥郷 (内分泌)	内分泌・代謝 八十田 明宏 (内分泌)	内分泌・代謝 高屋 和彦 (内分泌)	内分泌・代謝 神尾 金 (内分泌)	
210 TEL(4241)	内分泌・代謝 荒井 宏司 (内分泌)	内分泌・代謝 須川 秀夫 (内分泌)	内分泌・代謝 西條 美佐 (内分泌)	内分泌・代謝 森山 賢治 (内分泌)	内分泌・代謝 赤水 尚史 (内分泌)		

2-B受付 糖尿病・栄養科(F)						内線 FAX	4425 4435
診察室	曜日	月	火	水	木	金	
211 TEL(4434)	糖尿病 中尾一和(1,3,5週) 糖尿病・肥満 小川佳宏(2,4週) (糖尿病)	糖尿病・運動療法 林 達也 (内分泌)	糖尿病・肥満 小川 佳宏 (内分泌)	糖尿病・肥満 細田 公則 (内分泌)	糖尿病 伊藤 裕 荒井 宏司 (内分泌)	糖尿病 (内分泌)	
212 TEL(4436)	糖尿病 井上 元 (内分泌)	糖尿病 海老原 健 (内分泌)	糖尿病 井上 元 (内分泌)	糖尿病 林 達也 (内分泌)	糖尿病 細田公則(1,3,5週) 米光 新(2,4週) (内分泌)		
213 TEL(4437)	高血圧・栄養 荒井 秀典 (老年)	糖尿病 福田 一仁 (糖尿病)	糖尿病・栄養 鈴木 春彦 (糖尿病)	糖尿病・栄養 福島 光夫 (糖尿病)	糖尿病・栄養 福島 光夫 (糖尿病)		
214 TEL(3564)	糖尿病・栄養 安田 浩一朗	糖尿病 山田 祐一郎 (糖尿病)	糖尿病 津田 謹輔 (糖尿病)	糖尿病・栄養 藤本 新平 (糖尿病)	糖尿病 山田 祐一郎 武田智典(2,4週午後) (糖尿病)		
215 TEL(3674)	糖尿病 細川 雅也 (糖尿病)	糖尿病・栄養 清野 裕 (糖尿病)	糖尿病 中井 義勝 (糖尿病)	糖尿病 清野 裕 (糖尿病)	糖尿病 長嶋 一昭 (糖尿病)		
216 TEL(4441)	担当医 (糖尿病)	担当医 (糖尿病)	担当医 (糖尿病)	担当医 (糖尿病)	担当医 (糖尿病)		
栄養指導室 TEL(4439)	栄養士 (糖尿病)	栄養士 (糖尿病)	栄養士 (糖尿病)	栄養士 (糖尿病)	栄養士 (糖尿病)		

2-G受付 血液・腫瘍科(A)						内線 FAX	4420 4421
診察室	曜日	月	火	水	木	金	
260 TEL(4417)	一般 岡崎 俊朗 (血液)	一般 堀 利行 (血液)	一般 堀 利行 (血液)	一般 岡崎 俊朗 (第2,4週のみ) (血液)	一般 岡崎 俊朗 (血液)		
261 TEL(4418)	一般 高橋 淳 (血液)	一般 石川 隆之 (血液)	一般 門脇 則光 (血液)	一般 今田 和典 (血液)	一般 高折 晃史 (血液)		
262 TEL(4419)	一般 一戸 辰夫 (血液)	一般 内山 卓 (血液)	一般 山本 孝吉 (血液)	一般 高山 博史 (血液)	一般 笹田 昌孝 (血液)		

2-G受付 免疫・膠原病科(B)						内線 FAX	4420 4421
診察室	曜日	月	火	水	木	金	
264 TEL(3680)	免疫・膠原病 梅原 久範 (免疫)	免疫・膠原病 藤井 隆夫 (免疫)	免疫・膠原病 藤井 隆夫 (免疫)	免疫・膠原病 三森 経世 (免疫)	免疫・膠原病 梅原 久範 (免疫)		
265 TEL(3681)	免疫・膠原病 田中 真生 (免疫)	免疫・膠原病 長岡 研五 (免疫)	免疫・膠原病 田中 真生 (免疫)	免疫・膠原病 藤田 宗 (免疫)	免疫・膠原病 藤田 義正 (免疫)		
266 TEL(4568)				消化器科が使用			

2-C受付 循環器科(H)						内線 FAX	4445 4450
診察室	曜日	月	火	水	木	金	
222 TEL(3682)	心臓病 桑原 宏一郎	心臓病 高橋 伸基	心臓病 原田 昌樹	心臓病・運動療法 樹田 出	心臓病・運動療法 久米典昭(1,3,5週) 久米典昭(2,4週) (老年)	心臓病・運動療法 久米典昭(1,3,5週) 久米典昭(2,4週) (老年)	
223 TEL(3683)	心臓病・心不全 岸本 千晴 (循環器)	心臓病・心不全 当麻 正直 (循環器)	心臓病・心不全 赤尾 昌治 (循環器)	心臓病・心不全 藤田 正俊 (循環器)	心臓病・心不全 細川 了平 (循環器)		
224 TEL(4455)	心臓病 神原 直樹 (循環器)	心臓病 由井 芳樹 (循環器)	心臓病 松森 昭 (循環器)	心臓病 静田 聡 (循環器)	担当医 (循環器)		
225 TEL(4447)	心臓病 長谷川 浩二 (循環器)	心臓病 松田 哲也 (循環器)	心臓病 長谷川 浩二 (循環器)	心臓病 木村 剛 (循環器)	心臓病 大庭 宗夫 (循環器)		
226 TEL(4448)	心臓病・初診 木原 康樹 (循環器)	心臓病・初診 木村 剛 (循環器)	心臓病・初診 佐藤 幸人 (循環器)	心臓病・初診 木原 康樹 (循環器)	心臓病・初診 古川 裕 (循環器)		
227 TEL(4449)	担当医 (循環器)	担当医 (循環器)	担当医 (循環器)	担当医 (循環器)	担当医 (循環器)		

2-D受付 老年科(J)						内線 FAX	4445 4450
診察室	曜日	月	火	水	木	金	
228 TEL(3685)	加齢総合外来 久米 典昭 (老年)	加齢総合外来 横出 正之 (老年)	加齢総合外来 長野 豊 (2,4週) (老年)	加齢総合外来 若月 芳雄 (老年)	加齢総合外来 若月 芳雄 (老年)		
229 TEL(3686)	老年神経内科 松林 公蔵 (老年)	加齢総合外来 堀内 久徳 (老年)	加齢総合外来 出木谷 寛 (老年)	加齢総合外来 荒井 秀典 (老年)	加齢総合外来 田中 誠 (老年)		
234 TEL(4454)		加齢総合外来 田中 誠 (老年)	加齢総合外来 武地 一 (老年)	加齢総合外来 武地 一 (老年)	加齢総合外来 田中 誠 (老年)		
235 TEL(3719)				加齢総合外来 山田 伸一郎 (老年)	加齢総合外来 山田 伸一郎 (老年)		
241 TEL(4571)	認知/バビ 田中 誠 (老年)						

物忘れ外来は完全予約制(71-4445に午後電話して下さい)

2-D受付 神経内科(K)						内線 FAX	4445 4450
診察室	曜日	月	火	水	木	金	
230 TEL(3738)	一般・てんかん 池田 昭夫 (神内)	一般 澤田 秀幸 (神内)	一般 辻 輝之 (神内)	一般 河本 恭裕 (神内)	一般 松本 理器 (神内)		
231 TEL(3739)	一般・脳神経障害 橋川 一雄 (神内)	一般 下濱 俊 (神内)	一般 目崎 高広 (神内)	一般 池田 昭夫 (神内)	一般 目崎 高広 (神内)		
232 TEL(4456)	一般 福山 秀直 (神内)	一般・パーキンソン病 高木 英資 (神内)	一般 富本 秀和 (神内)	一般 下濱 俊 (神内)	一般 澤田 秀幸 (神内)		
233 TEL(4457)	一般 長峯 隆 (神内)	一般 木原 武士 (神内)	一般 池本 明人 (神内)	一般 松井 大 (神内)	一般 美馬 達哉 (神内)		
234 TEL(4454)	一般・運動失調症 河本 恭裕 (神内)				一般 柴崎 浩 中村 容子 (神内)		

外来診療担当医表 2階 外科系 (2003年 2月)

京都大学医学部附属病院

2-F受付		歯科口腔外科(140)				内線 3729 FAX 4550
診察室	曜日	月	火	水	木	金
予診室1 251 TEL(4548)		西田 光男	坪井 陽一	安田 真也	別所 和久	村上 賢一郎
予診室2 252 TEL(4549)		高橋 克	園部 純也	飯塚忠彦(再診)	吉田 和也	山村 功
ポリクリ室 253 TEL(4531)		飯塚 忠彦 飯田 正人 吉田 和也	村上 賢一郎(2.4週) 高橋 克(2.4週) 山村 功(1.3.5週)	西田光男(2.4週) 別所和久(1.3.5週) 安田 真也	村上賢一郎(再診)	
診察室 20番 TEL (3730)	20-1	安藤 志保			安藤 志保	安藤 志保
	20-2	坪井 陽一	坪井 陽一			
	20-3	後藤 和久		白井 泰彦	後藤 和久	白井 泰彦
	20-4	園部 純也	園部 純也	別所 和久	別所 和久	
	20-5	高橋 克		高橋 克	山村 功	山村 功
	20-6		吉田 和也	吉田 和也(初診2)	吉田 和也	
	20-7	安田 真也	関根 慶子	関根 慶子	関根 慶子	
	20-8	西田 光男	海原 真治	海原 真治	西田 光男	村上 賢一郎
	20-9	山本 博充	山本 博充	山本 博充		
処置室 250	午前					
	午後		吉田 和也		山村 功(1.3.5週) 高橋 克(2.4週)	
専門外来 (午後)	20-3	顎矯正 西田 光男 高橋 克 (1.3.5週)				顎矯正 西田 光男 山村 功 横江義彦(1.3週) 高木亮明(3週のみ)
	20-6	睡眠呼吸障害 吉田 和也 坪井 陽一 (1.3.5週)				
	20-7	顎関節 村上 賢一郎 山村 功 (2.4週)				
	251	腫瘍外来 西田 光男 安田 真也	顎顔面骨骨折 坪井 陽一 山村 功		顎顔面骨骨折 別所 和久 山村 功	インプラント 坪井 陽一 安田 真也 高橋 克

\* 専門外来は、基本的には再診のみです。

2-G受付		放射線科核医学科(150)				内線 4420 FAX 4421
診察室	曜日	月	火	水	木	金
255 TEL(4564)			核医学 画像診断 安里 令人	核医学 小西 淳二	放射線治療 小久保 雅樹 (最終週のみ)	
256 TEL(4565)	午前		放射線治療 光森 通英 (午前のみ)	放射線治療 荒木 則雄 (午前のみ)	放射線治療 河村 幸子	画像診断 飯 香 永田 靖
	午後				放射線治療 小野 公二 (2.4週)	
257 ポリクリ室 TEL(3423)	午前			治療新患 佐々木 慶英	放射線治療 佐々木 慶英 (午前のみ)	放射線治療 坂本 隆史 (午前のみ)
	午後		ラジオサージャリー 大屋 夏生 高橋 潤	治療新患 佐々木 慶英		
258 TEL(4566)		放射線治療 溝脇 尚志	放射線治療 永田 靖	放射線治療 平岡 真寛	放射線治療 大屋 夏生	放射線治療 光森 通英
		治療新患 坂本 隆史	治療新患 山内 知香子	放射線治療 柴田 徹	治療新患 荒木 則雄	治療 腫瘍新患 河村 幸子
259 TEL(4567)		中診 担当医2	中診 担当医4	中診 担当医5	中診 担当医3	中診 担当医6
中診地下(2室) TEL(3532)		中診 担当医11	中診 担当医8	中診 担当医9	中診 担当医10	中診 担当医7
中診地下(3室) TEL(3532)		中診 担当医1	中診 担当医12	中診 担当医13		
中診地下(4室) TEL(3532)						
Ri診療棟 TEL(3543)						甲状腺 小西 淳二 東 達也
南西放治 101		南西担当医1 南西担当医2 南西担当医3				

2-E受付		脳神経外科(170)				内線 3729 FAX 4550
診察室	曜日	月	火	水	木	金
235 TEL(3719)						化学療法 G高橋潤 高橋淳
236 TEL(3720)		佐藤 徹	菊田 健一郎			高木 康志
237 TEL(3721)		定藤 章代	ラジオサージャリー 高橋 潤			三國 信啓
			大屋 夏生			高橋 淳
238 TEL(3722)		高橋 淳	高橋 潤			
239 TEL(4569)		高橋 潤	野崎 和彦		担当医 (新患のみ)	野崎 和彦
240 TEL(4570)		宮本 亨	神経心理 大東祥孝(午後)	担当医 (新患のみ)	神経心理 大東祥孝(午後)	宮本 亨
241 TEL(4571)			橋本 信夫			

半年以上受診していない患者は、水・木曜でも受診可能  
ラジオサージャリー外来は午後

外来診療担当医表 3階 (2003年 2月)

京都大学医学部附属病院

3-B受付		小児科(080)				内線 3709 FAX 4495
診察室	曜日	月	火	水	木	金
311 TEL(3710)		ボリクリ (平家 俊男)	橋 隆	土井 拓	橋 隆	ボリクリ
312 TEL(3711)		野崎 浩二	徳田 光利	渡辺 健一郎	小林 道弘	黒川 啓二
313 TEL(4503)		心臓外科 土井 拓	代領内分科 野村 孝(夜間のみ)	血液 足立 壮一	発原/アレルギー 西小森 隆太	神経 服部 春生
314 TEL(4504)		泌尿 服部 春生	代領内分科 河井 昌彦	代領内分科 依藤 亨	血液 足立 壮一	代領内分科 依藤 亨
315 TEL(4505)		一般外来 中畑 龍俊	一般外来 依藤 亨 (ボリクリ兼)	一般外来 服部 春生	一般外来 平家 俊男 (ボリクリ兼)	一般外来 平家 俊男 (ボリクリ兼)
316 TEL(4506)		末病児 河井 昌彦	小児心理 友久 久雄		小児心療 高尾 龍雄	
317 TEL(4507)		発達ポスト 中瀬 潤			発達ポスト 友久 久雄	発達ポスト 友久 久雄

\*小児心理、友久Dr.は予約センターで予約を入れないこと

3-C受付		産科婦人科(070)					内線 3700 FAX 4501
診察室	曜日	月	火	水	木	金	
予診室 318 TEL(4559)		予診医師	予診医師	予診医師	予診医師	予診医師	
319 TEL(4502)		ボリクリ 藤井 信吾	泌尿科/産科 万代 昌紀	泌尿科/産科 樋口 壽宏	泌尿科/産科 中村 光彰	泌尿科/産科 草刈 孝史	
320 TEL(4497)		産科 佐川 典正	産科 角井 和代	産科 竹村 真紀	産科 伊東 宏晃	産科 小阪 謙三	
321 TEL(4498)	A	婦人科 田良 茂夫	婦人科 南部 省成子	婦人科 高倉 賢二	婦人科 福原 健	婦人科 刈谷 方俊	
	B	産科 吉岡 信也					
322 TEL(4499)	A	妊産科 藤原 浩	妊産科 巽 啓司	妊産科 吉岡 信也	妊産科 佐藤 幸保	妊産科 吉岡 信也	
	B	妊産科 吉岡 信也		妊産科 刈谷 方俊		妊産科 西岡 良孝	

新患及び予約無しで半年以上来院していない患者は診察前に問診票を記入し必ず318号室で予約を受ける

3-A受付		眼科(060)				内線 3709 FAX 4495
診察室	曜日	月	火	水	木	金
301 TEL(4481)	午前	診察 高木 均	診察 田邊 晶代	診察 桐生 純一	診察 本田 孔士	診察 鈴間 潔
	午後	網膜色素変性 高橋 政代		黄斑 高木 均 (1,2,4週)	黄斑 板谷 正紀 (1,2,4週)	網膜疾患 板谷 正紀
302 TEL(4482)	午前	診察 宮本 和明	診察 板谷 正紀	診察 愛川 裕子	診察 西脇 弘一	診察 今本 求
	午後				診察 鈴間 潔	診察 鈴間 潔
303 TEL(4483)	午前	診察 森澤 明子	診察 森澤 明子	診察 宮本 紀子	診察 鈴間 潔	診察 沢村 恵
	午後		ERG 担当医		診察 高橋 政代	診察 高橋 政代
304 TEL(4484)	午前	緑内障 田邊 晶代	緑内障 高木 均		緑内障 桐生 純一	緑内障 高木 均
	午後				緑内障 桐生 純一	緑内障 高木 均
305 TEL(4485)	午前	緑内障 尾島 知成	緑内障 渡部 大介	緑内障 宮本 和明	緑内障 宮原 晋介	緑内障 西脇 弘一
	午後				緑内障 愛川 裕子	緑内障 西脇 弘一
306 TEL(4486)	午前	緑内障 愛川 裕子	緑内障 桐生 純一	緑内障 赤木 忠道	緑内障 喜多 美穂里	緑内障 宮本 紀子
	午後				緑内障 高橋 政代	緑内障 高橋 政代
307 TEL(4487)	午前	緑内障 沢村 恵	緑内障 西脇 弘一	緑内障 平田 裕也	緑内障 宮本 紀子	緑内障 宮本 和明
	午後	角膜炎 沢村 恵			緑内障 宮本 紀子	緑内障 宮本 和明
308 TEL(4488)	午前	緑内障 宮崎 賢也	緑内障 植村 明彦	緑内障 鈴間 泉	緑内障 田邊 晶代	緑内障 村上 智昭
	午後				緑内障 西脇 弘一	緑内障 村上 智昭
309 TEL(4489)	午前	緑内障 澤 才男 千原悦夫(1,3週)	緑内障 鈴間 潔	緑内障 半田 忠良	緑内障 家木 良彰	緑内障 大橋 啓一
	午後	緑内障 担当医	緑内障 高橋 政代	緑内障 春田 雅俊	緑内障 春田 雅俊	緑内障 担当医
310 TEL(4491)	午前	緑内障 板谷 正紀	緑内障 菅波 絵理	緑内障 三浦 真二	緑内障 三浦 真二	緑内障 担当医
	午後	緑内障 視力・視野検査	緑内障 視力・視野検査		緑内障 三浦 真二	緑内障 視力・視野検査

専門外来は全て予約制です。

3-F受付		耳鼻咽喉科(110)					内線 3731 FAX 4525
診察室	曜日	月	火	水	木	金	
337 TEL(4529)		三診(処方) 担当医	三診(処方) 担当医	三診(処方) 担当医	三診(処方) 担当医	三診(処方) 担当医	
339 TEL(3732)			咽喉口蓋裂 難聴/聴覚中枢障害 倉田 馨介	人工耳聾 伊藤 義一(2,4週) 補聴器(午後) 金丸 真一(1,3,5週) 注 智子(2,4週)	耳鼻科 大森 孝一		
341 TEL(4528)		一診・一診 小島 憲	二診・一診 安里 亮	二診・一診 池田 晴人	三診・一診 藤野 清大	二診・一診 中川 隆之	
342 TEL(4527)	午前	一診・初診 伊藤 壽一	一診・初診 田中 信三	一診・初診 大森 孝一	一診・初診 内藤 泰	一診・初診 辻 純	
	午後				三診(処方) 田中 信三		
343 TEL(4526)	午前	咽喉口蓋裂 難聴/聴覚中枢障害 平塚 康之	難聴 森田 武士	難聴 池田 晴人	難聴 藤村 聡	難聴 平塚 康之	
	午後				難聴 藤村 聡	難聴 平塚 康之	
344 TEL(4524)	午前	中耳炎/聴覚中枢障害 藤本 康子	中耳炎/聴覚中枢障害 細原 隆	中耳炎/聴覚中枢障害 中川 隆之(午前)	中耳炎/聴覚中枢障害 藤野 清大	中耳炎/聴覚中枢障害 藤野 清大	
	午後	中耳炎/聴覚中枢障害 担当医	中耳炎/聴覚中枢障害 担当医	中耳炎/聴覚中枢障害 担当医	中耳炎/聴覚中枢障害 担当医	中耳炎/聴覚中枢障害 担当医	
345 TEL(4523)	午前	緑内障 辻 純	中耳炎/聴覚中枢障害 金丸 真一	難聴 藤野 清大	難聴 樋谷 一郎	難聴 遠藤 剛	
	午後		新生児乳幼児難聴 金丸 真一 (1,3,5週) 注 智子 (2,4週)	難聴 安里 亮	難聴 中川 隆之	難聴 内藤 泰	
346 TEL(4522)	午前				難聴 田中 信三	難聴 内藤 泰	
	午後						
言語検査室 TEL(3344)							

専門外来はすべて予約制

3-D受付		泌尿器科(100)					内線 3700 FAX 4501
診察室	曜日	月	火	水	木	金	
323 TEL(4500)		一般 伊藤 哲之	一般 清川 岳彦	一般 賀本 敬行	一般 賀本 敬行	一般 賀本 敬行	
324 TEL(4521)		一般 小川 修	一般 賀本 敬行(午前)	一般 小川 修	一般 小川 修	一般 小川 修	
325 TEL(3701)		一般 山本 新吾	一般 木下 秀文	一般 羽淵 友則	一般 羽淵 友則	一般 羽淵 友則	
326 TEL(4517)		泌尿 超音波室 326	泌尿 超音波室 326	泌尿 超音波室 326	泌尿 超音波室 326	泌尿 超音波室 326	
327 TEL(3702)		泌尿 担当医 西山博之(午後)	泌尿 担当医 西山博之(午後)	泌尿 担当医 西山博之(午後)	泌尿 担当医 西山博之(午後)	泌尿 担当医 西山博之(午後)	
328 TEL(3703)		泌尿 担当医 国島 康晴	泌尿 担当医 西山 博之	泌尿 担当医 西山 博之	泌尿 担当医 西山 博之	泌尿 担当医 西山 博之	
329 TEL(4515)		泌尿 超音波室 330	泌尿 超音波室 330	泌尿 超音波室 330	泌尿 超音波室 330	泌尿 超音波室 330	
		泌尿 担当医 木下秀文(午後)	泌尿 担当医 木下秀文(午後)	泌尿 担当医 木下秀文(午後)	泌尿 担当医 木下秀文(午後)	泌尿 担当医 木下秀文(午後)	

専門外来は予約制です。  
(木)不妊外来の受付は、新来14:00、再来15:00まで  
(月)(木)前立腺ICJ-外来の受付は14:00まで

3-E受付		皮膚科(090)					内線 3714 FAX 4525
診察室	曜日	月	火	水	木	金	
334 TEL(3715)	午前	光線治療/一般 錦織 千佳子	皮膚科/皮膚外科 立花 隆夫	皮膚科/皮膚外科 西村 陽一	皮膚科/皮膚外科 西村 陽一	皮膚科/皮膚外科 梶島 健治	
	午後						
335 TEL(4509)	午前	乾燥/光線療法 金澤 伸雄	皮膚科/皮膚外科 西村 陽一	皮膚科/皮膚外科 西村 陽一	皮膚科/皮膚外科 金澤 伸雄	皮膚科/皮膚外科 高橋 健造	
	午後						
336 TEL(4510)	午前	一般 米澤 理雄	皮膚科/皮膚外科 神戸 直智	皮膚科/皮膚外科 神戸 直智	皮膚科/皮膚外科 米澤 理雄	皮膚科/皮膚外科 十一 英子	
	午後						
338 TEL(4511)	午前	白癬/一般 森田 和政	皮膚科/皮膚外科 森田 和政	皮膚科/皮膚外科 白銀 康祐	皮膚科/皮膚外科 白銀 康祐	皮膚科/皮膚外科 米澤 理雄	
	午後						
340 TEL(4512)	午前	一般 十一 英子	一般 十一 英子	一般 中村 元信	一般 中村 元信	一般 中村 元信	
	午後	接触皮膚炎 中村 元信 (予約のみ)					
予診室 331 TEL(4514)	午前			皮膚科 立花隆夫(1,4週) 三浦 陽子			
	午後						
332 TEL(3718)	午前	初診 宮地 良樹	初診 高橋 健造	初診 錦織 千佳子	初診 宮地 良樹	初診 立花 隆夫	
	午後	皮膚神経 中井 栄一			皮膚神経 尾崎 元昭 (1,3週)		
予診室 333 TEL(3706)	午前	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	
	午後						

皮膚神経外来の受付は 13:00~15:00  
接触性皮膚炎は予約センターで予約を入れない  
パッチテスト希望の方は(水)、(木)の子診に予約を入れて下さい。 予診後中村Dr.が診察されます。  
初診の担当医は日々変更の可能性がります。

### 外来診療担当医表 4階 (2003年 2月)

### 京都大学医学部附属病院

4-E受付		外科(M)				内線 4460 FAX 4462
診察室	曜日	月	火	水	木	金
411 TEL(4468)	初診 一般 今村 正之 (一外)	初診 一般 山岡 義生 (二外)	初診 胆膵、大腸 土井 隆一郎 (一外)	初診 一般 薦原 康行 (二外)	初診 大腸 小野寺 久 (一外)	
412 TEL(4469)	肝胆膵 藤本 康二 (一外)	食道、胃、大腸 長谷川 櫻 (二外)		肝胆膵 山本 雄造 (二外)	食道、胃、内分泌 嶋田 裕 (一外)	
413 TEL(4470)	食道、胃、乳腺 山崎 誠二 (一外)	肝、胆、膵 廣瀬 哲朗 (二外)	食道、胃、大腸 渡辺 剛 (一外)	食道、胃、大腸 佐藤 誠二 (二外)	胃・胆膵 河本 泉 (一外)	
414 TEL(4471)	食道、胃、大腸 川口 義弥 (一外)	肝、胆、膵 猪飼 伊和夫 (二外)	肝・胆膵 森 章 (一外)	肝、胆、膵 寺嶋 宏明 (二外)	一般 井上 一知 (一外)	
415 TEL(4472)		乳 腺 加藤 大典 (二外)		乳 腺 加藤 大典 (二外)	ディ・サージャリー 加藤 大典 (二外)	
416 TEL(3787)	乳腺(午後) 担当医 (二外)		乳腺(午後) 担当医 (二外)	乳 腺 稲本 俊 (二外)	乳 腺 稲本 俊 (二外)	
417 TEL(3693)	移 植 貝原 聡 (移植外科)	小児 移植 藤本 康弘 (小児外、移植外)		移 植 貝原 聡 (移植外科)		
418 TEL(3691)	移 植 江川 裕人 (移植外科)	移 植 江川 裕人 (移植外科)		移 植 尾池 文隆 (移植外科)		
419 TEL(3690)	移 植 小倉 靖広 (移植外科)	移 植 小川晃平(午前) 小崎浩一(午後) (移植外科)		小 児 移 植 上田 幹子 (移植外科)	肝、胆、膵 波多野悦朗(午後) (二外)	
409 TEL(4466)						

1外科のストマ外来は毎月第1、第2、第4水曜日で予約患者さんのみ  
 2外科の高圧酸素は午後のみ、新患は月曜、水曜受付不可  
 移外の受付 月曜日は12:00~14:30  
 2外科416号室の乳腺外来(月・水)は12:00~14:30

ディサージャリー受付 (内線4580)

4-E受付		心臓血管外科(220)				内線 4460 FAX 4462
診察室	曜日	月	火	水	木	金
410 TEL(4467)			心臓外科外来 米田 正始	心臓血管外科外来 西村 和修		心臓血管外科外来 亀山 敬幸
409 TEL(4466)			心臓外科外来 池田 義	心臓血管外科外来 仁科 健		小児心臓外科 池田 義 (1,3,5週のみ)
408 TEL(4465)			心臓外科外来 三和 千里			

4-E受付		形成外科(190)				内線 4460 FAX 4462
診察室	曜日	月	火	水	木	金
406 TEL(4463)	担当医		唇裂・口蓋裂 小耳症 内藤 浩	手足の先天異常 樋上 敦	癬痕拘縮・ケロイド 鈴木 茂彦	手足の先天異常 再建外科 鈴木 義久
407 TEL(4464)	担当医		顔面外傷骨折 担当医	担当医	再建外科 片岡 和哉	大矢 浩史
408 TEL(4465)					中村 哲郎	
417 TEL(3693)						

4-D受付		呼吸器外科(390)				内線 3415 FAX 4591
診察室	曜日	月	火	水	木	金
403 TEL(4927)	和田 洋己 手塚多洋症 李 美於(午後のみ)		花岡 伸治	和田 洋己	中村 達雄	長谷川 誠紀
404 TEL(4928)	柳原 一広		吉村 晋史 河野 洋三 (隔週)	田中 文啓	李 美於	板東 徹

4-D受付		麻酔科(160)				内線 3415 FAX 4591
診察室	曜日	月	火	水	木	金
405 TEL(3442)		角山 正博 宮崎 嘉也 若松 拓彦		宮崎 嘉也 石井 久成		角山 正博 難波 恒久 若松 拓彦